

令和5年度大月市事業仕分け

A-5

時間 15:20~16:20

場所 L202講義室

事業名	施設管理事業（テニスコート整備）
担当課	短大事務局 総務担当

事業の目的

○前期スポーツレクリエーション実習やサークル活動を実施するため、学生が安全、快適に使用できるようコートを整備すること

活動の実績(令和4年度)

○テニスコート整備回数…1回

成果と目標(令和4年度)

○スポーツレクリエーション実習(15回うちテニス実習)…0回(目標15回)

○テニスサークル登録人数…26人

○サークル活動実績…4回

課題・今後の方向性など

○サークル活動は単年度申請で設立し活動しているため持続して実施できないことも多い

○照明設置が少ない(グラウンド兼用撤去)ため活動時間の見直しを検討する

A-5	事業シート(概要説明書)			令和5年度
事業名	施設管理事業(テニスコート整備)			
予算事業名(細々目)	施設管理事業			
施策の大綱	豊かな心が育つまちづくり	事業開始年度	—	
施策体系	短期大学の充実	部 名	大月短期大学	
施策項目	施設の整備・充実	課 名	事務局	
根拠法令等	—	担当名	総務担当	
事務区分	■自治事務 □法定受託事務	作成責任者	小林 弘典	

○事務事業の計画

実施の背景	昭和54年竣工のテニスコートは大学の授業であるスポーツレクリエーション実習や学生のテニスサークル活動で使用しているが、平成26年3月併設高校が閉校となるまでは高校の部活動で年間を通して使用していたためコート整備なども実施していた。その後、授業とサークル活動のため、クレーコートを整備するため使用前に年1回専門業者に委託し環境を整える。			
目的 (何をどうしたいのか)	学生に人気履修科目である前期スポーツレクリエーション実習やサークル活動を実施するため、学生が安全、快適に使用できるようコートを整備することが目的である。			
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	在学生	対象者数(全住民に対する割合) 355 人 (() %)	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: ㈱山口商事) <input type="checkbox"/> 補助金[直接・間接](補助先: 実施主体:) <input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()		
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容(箇条書き)	事業費	活動指標
	関連事業 (同一目的事業等)			

○事務事業の取組

コスト	事業費	令和5年度(予算)		令和4年度(決算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)	
		人数	千円	人数	千円	人数	千円	人数	千円
事業費	事業費合計		121		102		0		0
	事業費内訳 (令和4年度分)	支出内容		経費		支出内容		経費	
		手数料		テニスコート整備料	102				
人件費	正職員	0.006	44	0.006	44	0.003	21	0.003	22
	臨時職員等		0		0		0		0
	人件費合計	0.006	44	0.006	44	0.003	21	0.003	22
	総事業費		165		146		21		22

財源 内訳	国県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
	国県支出金の内容					
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	その他特財の内容					
	一般財源	165千円	146千円	21千円	22千円	
財源合計		165千円	146千円	21千円	22千円	
事業 実績	【活動指標名】(実績値/目標値)		単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度
	テニスコート整備回数		回	1	-	-
	単位当たりコスト		/			

○事務事業の評価

事業 成果	成果目標 (指標設定理由等)	スポーツレクリエーション実習とテニスサークル活動が円滑に使用できるようにテニスコートを維持管理				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】(実績値/目標値)	単位	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		スポーツレクリエーション実習(15回うちテニス実習)	回	0	-	-
		テニスサークル登録人数	人	26	-	-
		サークル活動実績	回	4	-	-
				/	/	/
自己評価 課題 今後の方針 (事業の有効性、効率性、必要性の観点)	<p>事業の有効性等 テニスコートの整備を行いスポーツレクリエーション実習を実施する。</p> <p>背景 ○スポーツレクリエーション実習の開講は通年 前期科目、対面講義が基本であるがコロナウイルス感染症の影響を考慮し、開講時期の変更やオンライン講義(令和2.3年度)で開講した。 ○サークル活動は単年度申請で設立し活動しているため持続して実施できないことも多い。</p> <p>課題 ○サークル活動時間 平日午後6時から午後8時45分となっているが、照明設置が少ない(グラウンド兼用撤去)ため活動時間の見直しを検討する。</p> <p>コート整備委託業者からの指摘事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度が上がることで雑草は生えなくなる ・ラインを引かなくなった(ラインテープを引かない)のは、利用頻度がないことで草が生える、また、冬季に霜ができることで地面に凹凸ができ、すぐにはがれてしまうからである。 ・整備は現在年一度のみだが、利用頻度が上がることで、コートの状態は良くなり快適に使用できる。ただ、利用頻度が数回であると、安全、快適に使用するためには、年に2回程度の整備が妥当である。 					
比較参考値 (類似事業例など)	グラウンド整備(週1~2回)					
特記事項	サークル登録者人数令和元年15名 平成30年19名					

大月短期大学施設案内図

至R20

至市立図書館







